



※一般会計歳出予算額(性質別)の内訳は、市ホームページをご覧ください。

用語説明

- 市税 市民の皆さんや法人が市に納めるお金
- 地方交付税 一定水準の行政サービスを提供するため、国から交付されるお金
- 国庫支出金 特定の目的のために国から交付されるお金
- 緑入金 各種基金から繰り入れられるお金
- 県支出金 特定の目的のために県から交付されるお金
- 市債 道路や学校などの整備を行うために借入のお金
- 諸収入 市の預金利子や貸付金の元金収入など、ほかの歳入には含まれないお金
- 地方消費税交付金 県税である地方消費税のうち、市に交付されるお金

歳出

- 民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉、保育所などに使われるお金
- 土木費 道路・住宅・公園の整備などに使われるお金
- 衛生費 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 公債費 借入金(市債)の返済に使われるお金
- 総務費 市税、戸籍、選挙関係、そのほか一般的な管理事務に使われるお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ振興などに使われるお金
- 消防費 消防・水防・災害対策などに使われるお金
- 農工商費 商工業や観光の振興などに使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興などに使われるお金

平成26年度の当初予算決まる

今年度の財政見通しは、歳入面では、復興需要等を要因として市民税が回復基調にあるものの、固定資産税は依然として低い水準にとどまっており、一般財源の確保が引き続き厳しい状況にあります。

一方、歳出面では、公債費は減少傾向にあるものの、平成二十六年予算は、ふ

消費税率や電気料金の引き上げ、労務単価の上昇のほか、復興への最優先の取り組みと再生に向けた新たなまちづくりを進めるためには、財政調整基金を取り崩して対応せざるを得ない状況となっております。

このような状況の中で、平成二十六年予算は、ふ

お問い合わせ
財政課財政経営係
☎22・7420

総額 3,306億1,896万円 (前年度比3.7%減)

一般会計	1,596億4,306万円 (前年度比13.3%減)
特別会計	1,215億4,051万円 (前年度比0.3%増)
企業会計	494億3,539万円 (前年度比30.2%増)

国民健康保険事業	383億596万円
後期高齢者医療	35億5,882万円
介護保険	292億750万円
母子寡婦福祉資金貸付金	1億1,269万円
土地区画整理事業	194億7,551万円
下水道事業	117億1,803万円
中央卸売市場事業	4億3,343万円
競輪事業	180億92万円
地域汚水処理事業	3億9,709万円
農業集落排水事業	3億65万円
財産区(5財産区)	2,990万円

※平成26年2月定例会において、東日本大震災復興交付金事業および国の経済対策に対応した事業に要する経費等についての補正を行いました。



市議会2月定例会

市長からの行政報告

いわき市議会二月定例会が二月二十日から三月十二日までの二十一日間の会期で開催されました。

第5回いわきサンシャインマラソンについて

今大会は、日本全国から一万人を超えるランナーの皆さんにエンタリーいたただいていましたが、大会前日の二月八日から九日にかけて、記録的な大雪となり、コースの除雪の見通しが立たず、ランナーの皆さんの安全を確保することが困難であることなどから、関係者で協議し、やむなく中止としました。

参加予定であったランナーの皆さんからは「大会の中止は残念であるが、またエンタリーしたい」などの温かい言葉をいただき「明るく元気ないわき市」を全国に発信できるように、次回の開催に向けて準備を進めていきます。

○災害公営住宅入居申し込み受け付け結果について
災害公営住宅については、

現在、七地区十六カ所において整備を進めているところですが、これら千五百十戸を対象とした入居申し込み受け付けを、昨年十月から十二月までの約二カ月間にわたって実施しました。その結果、窓口および郵送を通じ、計千四百九十六件の申し込みを受け付け、選考基準に基づく選考を経て、入居内定者の皆さんに、内定通知を送付しました。今後は、本市の災害公営住宅の入居第一号として、三月から入居を開始した常磐関船団地を皮切りに、各団地での入居を進めるとともに、空き住戸については、再募集を行う予定です。

○いわき市南部火葬場施設整備基本計画の策定について
勿来火葬場については、施設・設備の老朽化や、今後増加が見込まれる火葬需要への対応などの課題を踏まえ、平成二十四年四月に

主な議案

○いわき市体験型経済教育施設条例の制定について
カタルフレンド基金を活用し、小学校五年生および中学校二年生を対象とした体験型経済教育プログラムを行う体験型経済教育施設が、五月中旬に供用を開

「市南部火葬場施設整備懇談会」を設置し、検討に着手してきました。その後、同年十一月に施設整備の基本事項を取りまとめた「市南部火葬場施設整備基本方針」を策定し、南部火葬場の規模や施設構成および整備手法などを内容とする「市南部火葬場施設整備基本計画」を策定しました。今年度から建築設計に着手し、平成二十八年度内には火葬部門の供用開始、平成三十年前半の全面供用開始を目指し、早期整備に向けた取り組みを進めていきます。

補正予算の主な内容

- ①平成25年度予算の最終的な整理など (一般会計=△196億9,579万1千円、特別会計=△50億7,408万円、企業会計=△10億7,693万7千円)
- ②平成25年度追加補正予算 (東日本大震災復興交付金事業=53億9,417万円、国および県の補正予算に対応した事業=46億6,321万7千円)
- ③平成26年度補正予算 (東日本大震災復興交付金事業=61億7,145万4千円、国の補正予算に対応した事業=15億7,414万3千円)

始することから、施設の設置および管理に関し必要な事項を定めるため、同条例を制定しました。

ふるさといわきの力強い復興の実現

◎市街化区域見直し調査事業 1,428万9千円

震災後の宅地需要に早期に対応するため、市街化区域の拡大も視野に入れた機動的な土地利用の運用を図る観点から「市街化調整区域における地区計画」の活用に向けた調査を実施します。

◎地域子育て支援拠点事業 1,504万千円

児童館などで子育てに関する相談・支援等を行う地域子育て支援拠点事業を実施する団体に対し、その経費の一部を補助します。

◎避難路整備事業 2億7,996万6千円

震災により、広域かつ甚大な津波被害を受けた沿岸市街地において、津波避難計画に基づき、当該地区から避難所等までの避難路を整備します。

◎ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業 617万3千円

平成27年4月～6月開催予定の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」のプレ事業の実施と、観光素材の磨き上げや市内各地域の特徴を生かした着地型観光プログラムを造成します。

◎太平洋・島サミット開催支援事業 566万9千円

平成27年5月に本市で開催される県内初の国際首脳会議である「第7回太平洋・島サミット」に向け、機運醸成や本市の魅力を国内外に発信する取り組みを支援します。

◎（仮称）いわきサンシャイン博開催検討事業 129万3千円

市全域を対象に年間を通じてさまざまな着地型イベントを有機的に結合させ、一つのプログラムとして提供する「（仮称）いわきサンシャイン博」の実現に向けた検討を行います。

◎小名浜港背後地復興拠点整備事業 43億9,726万6千円

小名浜港背後地の都市センターゾーンにおいて、津波防災機能を付加した複合商業施設の整備誘導や、国・県庁舎の集約化およびペDESTリアンデッキの整備を図り、防災性の高い魅力ある都市拠点づくりを進めます。

未来のために、明るく元気なまちづくりの推進

◎電子広報推進事業（SNS） 783万6千円

新たにSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、情報提供の迅速化や市民とのコミュニケーションの促進を図ります。

◎災害援護特別資金貸付金 2,740万円

災害により被害に遭った被災者に対し、生活再建のための資金の貸し付けを行います。

◎めざせオリンピック・トップアスリート養成事業 195万円

2020年に開催が決まった東京オリンピックに出場を夢見る市民の「夢」を「実現」へと結び付けることを目的に、選手の競技力向上やメンタルの強化等を図るとともに、日ごろ選手を指導する指導者の指導力の向上を図るため、これまでにオリンピックに出場した選手、または選手を育成したコーチ等を招へいし、実技指導の場を提供します。



▲五輪選手による指導

◎不特定多数利用者建築物耐震診断支援事業 6,052万円

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正により、耐震診断が義務付けとなる不特定多数の方が利用する大規模建築物の、耐震診断費用の一部を補助します。

◎プロ野球開催支援委員会補助金 300万円

プロ野球巨人対ヤクルト戦が本市で開催されるに当たり、官民協働による組織「2014いわき市プロ野球開催支援委員会」が実施する本市の情報発信や開催支援等に係る経費を補助します。

◎映画「超高速！参勤交代」を応援する会負担金 200万円

湯長谷藩を舞台としたご当地映画「超高速！参勤交代」の全国上映と併せて、本市の観光PRと観光地づくりを進めます。

喫緊の課題への対応

◎新病院建設事業（病院事業会計） 28億1,943万8千円

新病院の建設に係る造成工事等を実施します。

◎大学医学部寄附講座開設事業 5,000万円

本市の医療体制を確保するため、大学医学部等に寄附講座を開設し、総合磐城共立病院において不足している診療科の医師を招へいします。

◎いわき国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会設置事業 106万8千円

いわきのものづくりの基盤を生かした、新たな産業拠点創出の可能性等について、産学官の連携により検討する研究会を設置します。

◎洋上風力発電調査研究事業 60万円

国により進められている浮体式洋上風力発電の実証実験を契機として、将来の製造拠点化や関連産業の集積、さらには、地域企業の参入等に向けた取り組みを推進することにより、市内の産業振興を図ります。



▲福島復興・浮体式洋上ウインドファーム実証研究事業

◎災害公営住宅入居支援事業 8,390万円

震災により住宅を失い、個人で住宅を再建することが困難な被災者の生活再建を支援するため、災害公営住宅に入居する際の移転費用の一部を補助します。

◎津波被災住宅再建事業 4億3,343万1千円

津波により滅失、または損壊した住宅再建のための建設・購入費の借入利子、移転費用および、浸水区域内での宅地かさ上げ工事費用の一部を補助します。

◎出産支援金支給事業 1億4,176万5千円

出産を奨励祝福するとともに、出産に係る経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができる環境整備に寄与するため、出産支援金を支給します。

◎赤ちゃん絵本プレゼント事業 231万3千円

出産を祝福するとともに、乳幼児期における絵本の読み聞かせを通じ、親子のふれあいの大切さを伝え、健全育成の促進に寄与するため、絵本をプレゼントします。



▲絵本を通じて、親子ふれあいを促進

◎体験型経済教育事業 2,780万円

カタルフレンド基金を活用して設置した体験型経済教育施設において、市内の小中学生を対象とした体験型の学習プログラムを実施します。

◎学校司書設置事業 2,327万9千円

学校図書館の機能向上により、子どもの読書活動の充実、学力の向上につなげるため、市内の小中学校に学校図書館の蔵書管理や児童生徒への読書指導等を行う学校司書を設置します。

26年度
歳出予算

「明るく元気ないわき市」の
創造に向けた取り組み